

# COSO全社的リスクマネジメントの コンプライアンスリスク監査での60の活用方法

～全社的リスクマネジメントを活用したコンプライアンス監査での  
60の着眼点・質問、および判明した問題点に対する改善提言・留意点

本セミナーは、当協会会員のために内部監査人が研究した成果などを報告し解説するものです。今回はCIAフォーラム研究会No. a3（第12期ERM研究会）が取りまとめた成果物をもとに、研究会での議論の内容、結果等を解説いたします。

本研修会はZoom（※）動画配信です。

※ Zoomビデオコミュニケーションズが提供するクラウドコンピューティングを使用したWeb会議サービス。

※ Zoom導入および視聴方法は [こちら](#) をご確認ください。

※ 今回は予め収録した講演映像を用いた研修です。

Zoom による 配信日時	※下記の3回の配信を予定しております。（いずれも同内容です）  ①2026年 6月11日（木）14：00～16：00（開場13：30） ②2026年 6月12日（金）14：00～16：00（開場13：30） ③2026年 6月16日（火）14：00～16：00（開場13：30）
講師	次ページをご参照ください。
定員	各回それぞれ950名（申込先着締切）
視聴資格	当協会正会員および個人会員（視聴無料） ※お申込み時に登録した情報のご本人様のみご参加可能。
お申込み 方法	3ページ目をご確認ください。

# 講義内容

## 1. はじめに

COSOのガイダンス『コンプライアンスリスクマネジメント：COSO ERMフレームワークの適用』の目的

②第12期ERM研究会報告書の目的

## 2. 20の原則の内部監査での60の活用方法 ~着眼点・質問、および改善提言・留意点

①構成要素1 ガバナンスとカルチャー  
原則1～5

②構成要素2 戦略と目標設定  
原則6～9

③構成要素3 パフォーマンス  
原則10～14

④構成要素4 レビューと修正  
原則15～17

⑤構成要素5 情報、伝達および報告  
原則18～20

## 3. 参考：全社的リスクマネジメントと内部統制とのおおよその関係

講師

吉野 太郎 氏

CIAフォーラム研究会No. a3 第12期ERM研究会 座長

株式会社エスエーティ 常勤監査役

### 講師からのメッセージ

全社的リスクマネジメント（COCO-ERM）のフレームワークをコンプライアンスリスクに適用するためにCOSOが公表したガイダンスを、①コンプライアンスリスクの監査に活用するための着眼点・質問、および、②判明した問題点に対する改善提言・提言の際の留意点について、事例を交えて説明します。

また、説明は、全社的リスクマネジメントを構成する20の原則ごとに行いますので、全社的リスクマネジメントの概要を内部監査人の立ち位置からご理解いただけます。

コンプライアンス監査を行うための手法として全社的リスクマネジメントを活用したい方や、内部監査の立ち位置から全社的リスクマネジメントの概要を理解したい方の参考となるように説明します。内部監査人が全社的リスクマネジメントを監査ツールの一つとして活用していただく一助となれば幸いです。

## 当協会会員サイトに掲載。 会員サイト よりお申込みください。

お申込み前にご利用の機材で「Zoom」によるオンライン配信の講義が視聴可能であることをご確認ください。  
接続環境安定のため、Wi-Fi等の無線ではなくなるべく有線で接続してご受講ください。

ご参考まで ⇒ <https://www.iiajapan.com/leg/training/zoom/>

### 【会員サイトの利用登録について】

- 会員サイトの利用登録は1会員につき付与するID（ユーザー名）は1つとなりますので、事前に社内（部署内）での登録状況の ご確認をお願いいたします。（正会員の方）
- 既に利用登録されている会員の方は、付与されているID（ユーザー名）とパスワードを入力してログインしてください。
- 会員サイトに登録していない場合は、会員サイト新規登録が必要になります。
- 会員サイトの新規登録、またはユーザー名・パスワードお忘れの方は[こちら](#)よりお問合せください。

※事情により、中止あるいは配信日時等が変更になる場合は、当協会ホームページ等でお知らせいたします。恐れ入りますが、最新情報は当協会 [ホームページ](#) でご確認ください。

### 【CPE単位について】

「2.4CPE単位」が付与されます。⇒ “CPE単位”とは、CIA、CCSA、CFSAおよびCRMA資格等の継続的専門能力開発制度における認定単位です。CPEを報告される方は、視聴後日に配信される「修了証メール」を受講証明として、最低3年間、保管をお願いします。

「修了証メール」は講義終了24時間後を目途に自動配信されます。

なお、「修了証メール」の紛失等には一切の責任は負いかねます。あらかじめご了承ください。